

EU Indicators

欧州経済指標コメント：5月ドイツ I f o 企業景況感

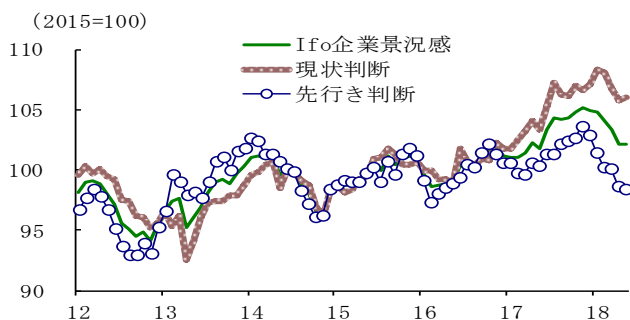
発表日：2018年5月25日(金)

～どちらを信じていいものやら～

第一生命経済研究所 経済調査部
 主席エコノミスト 田中 理
 03-5221-4527

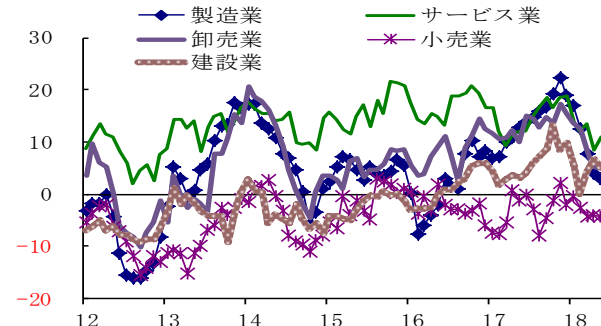
- 5月のドイツの I f o 企業景況感（2015年=100の指数）は102.2と前月から横這い。昨年11月の105.2をピークに前月まで5ヶ月連続で低下してきたが、ようやく落ち込みに歯止めが掛かった。内訳は現状判断（前月：105.8→今月：106.0）が4ヶ月振りに上昇した一方で、落ち幅こそ縮小したものの、先行き判断（98.7→98.5）が6ヶ月連続で低下した。
- 業種別の先行き判断（ゼロが分岐点）は、サービス業（+8.5→+11.0）の改善モメンタムが再加速した一方、小売業（▲4.2→▲4.3）のマイナス幅が拡大、製造業（+4.0→+3.0）、卸売業（+5.2→+5.0）、建設業（+6.7→+5.2）のプラス幅が縮小。米トランプ政権がドイツの自動車輸出も標的にする可能性があり、製造業の業況判断を一段と下押ししそうだ。ただ、過去の景気後退局面と異なり、製造業の在庫判断は過小水域にあり、在庫の積み上がりは確認されない。失業率が歴史的な水準に低下し、賃上げ率も加速傾向にあるなど、内需を取り巻く環境は引き続き良好。
- 既報のドイツPMIは5月に改善モメンタムが一段と鈍化し、今回の I f o 計数の動きと食い違う。PMIの鈍化は、例年に比べて祝日が多かったことや、人手不足によるボトルネックが影響したとされる。両業況感の単月の符号条件は必ずしも一致しないが、長期的な方向性は一致するため、業況が底打ちしたかを見極めるには、向こう数ヶ月の両計数の推移を確認する必要があると見られる。

■ドイツ：I f o 企業景況感



出所：Ifo

■ドイツ：業種別の先行きの業況判断



出所：Ifo

■ドイツ I f o 企業景況感

	2017				2018										
	2Q	3Q	4Q	1Q	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
企業景況感(総合)	102.5	104.3	105.0	104.1	104.3	104.2	104.3	104.8	105.2	105.0	104.8	104.1	103.3	102.2	102.2
現状指数	104.2	106.5	106.9	107.7	107.2	106.2	106.1	107.0	106.6	107.1	108.3	108.0	106.7	105.8	106.0
先行き指数	100.8	102.0	103.1	100.6	101.4	102.2	102.5	102.7	103.7	102.9	101.5	100.3	100.1	98.7	98.5
業況判断	22.1	25.2	26.9	24.8	25.9	24.9	24.8	26.8	27.4	26.5	27.6	24.6	22.2	19.7	20.5
製造業	26.5	30.8	32.9	30.5	31.1	30.9	30.4	32.2	34.5	32.1	34.1	30.2	27.3	24.2	24.0
サービス業	25.8	31.3	32.2	30.3	31.2	31.1	31.6	31.8	31.9	32.8	31.4	30.1	29.5	26.0	26.9
卸売業	22.7	23.8	24.1	23.7	25.5	22.2	23.6	21.8	25.3	25.1	25.6	24.7	20.8	14.8	17.9
小売業	8.5	4.9	8.0	6.1	7.9	2.0	4.9	8.7	7.5	7.8	9.2	7.1	1.9	3.3	7.5
建設業	13.1	16.6	18.1	17.1	15.3	16.8	17.8	19.6	16.6	18.2	17.3	15.5	18.4	19.6	20.3

出所：Ifo

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。